

【授業科目】疫学 Epidemiology

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
工藤 安史	2年次後期	選択	2	30	講義		卷末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	授業概要/疫学の概念と歴史、年齢調整死亡率、疾病の指標、疫学研究の種類、スクリーニングなどについて学ぶ。また、講義で解説をした後に、保健師の国家試験の過去問を多数解くことで、知識を定着させる。課題に対するフィードバック方法/授業中の確認テストおよびレポート課題、さらに学年末試験などに対して、講義中および掲示板を通して、学習方法について助言する。							
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から看護の役割を考え、実践することができる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	① 保健師・看護師として知っておくべき、疫学の基本概念について説明することができる。 ② 疾患の発生、流行、疫学で用いられる指標について説明することができる。 ③ 疫学研究で用いられる手法について説明することができる。							
時間外学習に必要な内容・時間	第1回から第15回の事前学習：講義レジメを配布しますので、レジメを予め読んで来てください。また、教科書で該当する箇所を読んできて下さい(目安となる事前学習の時間は、1回あたり2時間です)。 第1回から第15回の事後学習：講義で指導した内容を踏まえ、レジメプリントおよび教科書を中心に復習して下さい(目安となる事後学習の時間も1回あたり2時間です)。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回 疫学の概念や歴史を学ぶ。 疫学とは何か、ジョン・スノウや高木兼寛による疫学研究の歴史について学ぶ。 第2回から第3回 年齢調整死亡率 直接法と間接法による年齢調整死亡率について学ぶ。 第3回から第4回 疾病の指標 有病率、罹患率、致命率、人年法などについて学ぶ。 第5回から第10回 疫学研究の種類 無作為抽出法、記述疫学、横断研究、コホート研究、症例・対照研究、介入研究、バイアス、交絡因子などについて学ぶ。 第11回から第14回 スクリーニング 感度、特異度、陽性反応的中度、陰性反応的中度、スクリーニングレベルとその変動による影響、ROC曲線、精度管理などについて学ぶ。 第15回 まとめ この講義についてまとめを行う。							全て 工藤
評価方法 評価基準	筆記試験 100%で評価する。							
教科書	浅野嘉延 看護学生のための疫学・保健統計学 改訂第4版 南山堂		参考書等		随時、紹介する。			
学生への助言等	統計処理に関して、「保健統計学」の講義で指導します。							